

自家肥育牧場の牛ふんを原料とした発酵堆肥をペレット化 (有限会社澤井牧場)

滋賀県竜王町 2023年11月時点

牛ふん

ペレット

県内

○ 有限会社澤井牧場は、肥育牧場（黒毛和種約2,600頭飼養）から排出される牛ふんを発酵させ、堆肥の一部を注文に応じてペレット形状にして販売。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

・牛ふん

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
- ・肥料名：発酵牛ふん堆肥
- 形状：直径4 or 5 mm×17mm

■ 作物

- ・水稻
- ・野菜
- ・飼料作物



■ 主要成分の含有量・特徴等

N	P	K	C/N比	水分
2.1	3.0	3.86	15.2	25～30%

プラントにて20～30日攪拌・強制発酵後、堆肥舎にて堆積熟成

■ 取組の経緯・内容・成果

取組の経緯

- ・滋賀県竜王町においては、地域内での堆肥利用が定着していたが、散布に労力がかかること、堆肥専用の散布機械がないことから、既存の機械で散布しやすいようペレット化することにした。その際、既存設備を利用するなど工夫し、設備導入経費を抑制。

取組の内容

- ・堆肥のペレット化を平成30年に開始。
- ・耕種農家にとって、扱いやすく・汚れにくく、臭いが少なく、所有する機械で散布が可能。
- ・「農場HACCP」、「JGAP」の認証取得牧場の牛ふんを原料とし、稲わらやおが粉敷料のみの堆肥として販売。

成果

- ・ペレット化により原料堆肥に比べ容積が7～8割に減少し、運搬性が向上。
- ・全量を地域循環しており、化学肥料の使用量低減など地域の環境負荷の低減に寄与。



■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者

肥料製造者

肥料利用者

有限会社澤井牧場
(滋賀県竜王町)

ペレット堆肥

利用者が運搬
(フレコン500kg/袋)
配送販売

県内耕種農家
(水稻、野菜等)



■ 今後の課題・取組

- ・県内外への販売量の拡大を図るにあたり、ホームページへの掲載など、どのように製品のPRをしていくかが課題。
- ・原料や製品の水分含量を下げる乾燥場を導入し、冬季の原料確保、製品の団子化の回避などによる品質の安定化、需要期にも対応できる供給量の確保に繋げる。
- ・耕種農家から求められる製品づくりのため、耕種農家の要望に合わせた成分調整を行うなど、より品質の高い堆肥生産を目指す。